



全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1 2番

TEL 072-241-6660

メール ctgsansobukai@ybb.ne.jp

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

建交労 第20回定期大会



建交労第20回定期大会が9月1日(土)～3日(月)に群馬県安中市において開催され、安倍9条改憲阻止や人間らしく働ける職場と産業をめざすたたかいを呼びかけました。

来賓は、初日に全労連・長尾ゆり副議長、日本共産党・山添拓参議院議員、生公連・古澤一雄事務局次長、交運共闘・高城政利議長、建政研・浅見和彦理事長、2日目には、小池純一、水口洋介両顧問弁護士にそれぞれ激励・連帯のあいさつをいただきました。

あいさつした角田季代子委員長は、安倍政権が日本の平和・民主主義・働く者のいのちと健康をないがしろにして、「9条改憲の推進、働き方改革一括法の強行採決、辺野古基地建設推進」などの暴走政治を続け、さらには公的文書改ざん・データねつ造・情報隠ぺい、官僚セクハラ・村度を擁護し、まともな反省すらしない異常極まりない姿勢を厳しく糾弾しました。「過労死促進を合法化し、格差を固定化する内容だ。運輸建設産業でも、低賃金、人手不足で疲弊している。産業改善提言や政策を前面に掲げて攻勢的に取り組もう」と呼びかけました。

一方で「全国統一 3,000万人署名」の署名推進、組織拡大、業種別部会運動による要求闘争の展開を大会参加者へ呼びかけました。

大会初日の廣瀬書記長による2018年度運動方針案では、「10万人アンケート」を土台に賃上げなど要求闘争の前進、主要12業種部会の運動と部会間の連携、トンネルじん肺根絶闘争など労働安全衛生の環境づくり、安倍9条改憲阻止、労働法制改悪阻止、原発ゼロ、消費税増税中止、社会保障闘争での共同と野党共闘の推進を提起しました。運動方針等の提案にもとづき、1日目特別報告6人、2日目討論54人の計60人が発言しました。安倍9条改憲NO！3000万署名の組合員平均一人10筆目標を達成した長崎県本部と福岡県本部、9月30日投票の沖縄県知事選挙で故翁長雄志県知事の遺志を継ぐオール沖縄の玉城デニー予定候補勝利をめざす沖縄学童保育の仲間など憲法が生きる社会を追求する積極的な発言と同時に各業種部会や職場・地域でのたたかいや組織建設でも方針を深める討論が展開されました。

また、機関誌コンクールでは、全国酸素部会は努力賞を頂きました。大会3日目は全ての方針が採択されました。また、2018年～2019年度・中央執行委員会を選出する役員選挙を実施し、立候補者全員が信任されました。

最後に角田委員長の発声で団結がんばろう三唱し、9月1日に開会した建交労第20回定期大会はすべての方針が採択され、新役員体制を確立して3日に閉会しました。

最後に角田委員長の発声で団結がんばろう三唱し、9月1日に開会した建交労第20回定期大会はすべての方針が採択され、新役員体制を確立して3日に閉会しました。

神奈川県南支部 斎藤健人



大田貨物運送(株)への申し入れ行動

8月30日(木)に大田貨物運送(株)に対し申し入れ行動をおこないました。

6月4日に建交労大陽液送分会・大田貨物運送班を立ち上げ、会社に結成通知を行なって以来3回の交渉を行ってきましたが、会社の役員は喋らず、社会保険労務士が全面に出てきて要求書(未払い賃金、一時金無し、最賃下回る単価など)に一切答えない不誠実な団交を行ってきました。その上、日程についてもその場で答えず引き伸ばしてきました。

組合として「8月30日18時に直接会社にお伺いして日程を聞きに行く」と会社に通告してこの日を迎えました。当日宣伝カーを会社前に停めて大陽2名、寿2名、立正2名、テーエス1名、大田1名の9名で大田貨物(株)前に集合、全国酸素部会鷹巣事務局長、米田部会長、大田貨物班吉田組合員の代表3名で申し入れを行いました。

案の定、会社の役員と社会保険労務士が事務所入り口で「日程は決められない、忙しいから帰ってくれ、警察を呼ぶ」といって若い従業員は殴りかかる暴挙に出ました。

数分後警察がパトカー2台と覆面パトカー1台で7~8名来て事情を説明して再度話し合いするも会社は依然として日程拒否、更に1時間ほど粘り強く話しをして会社も9月の第3週に行うという事になりましたが、あまりにも日程があいているので、条件として「社長に直接合わせてもらうこと、それが無理であれば、社長の家に行きます。」と通告して解散しました。

いま大田貨物運送(株)は交渉の日程を決めるだけで、警察を呼んで組合を排除する対応をしていますが、当たり前の要求を当たり前の話をして解決できる会社にしていくためにみんなで団結して、粘り強く運動を進めて行きましょう。

全国酸素部会部会長 米田 順一

東北地方 復興調査

大阪交運共闘会議で東日本大震災の復興に向けての調査を三年前に続き8月27~29日に行いました。

今回も西村教授(関西大学・社会安全学部)を団長に全港湾阪神・国交労組・国労・自交総連・建交労・関大生の11名で東北運輸局・南三陸町役場・気仙沼市役所の三ヶ所を訪問しました。東北運輸局では地域の公共交通政策の展開の特徴についてと課題点について懇談をしました。その中で進んでいる自治体は学習会などを行ったり積極的に意見の交換などが行われているらしいです。また、運転手不足など労働者不足などで復興事業が進まない事も出されてました。南三陸町役場での意見交換会では高台への移住地移設に伴い住民の足を守るコミュニティー交通についても色々とお出されました。

広域移動の確保としてBRT(バス・ラピッド・トランジット)が使われているが鉄道の普及にも色々な思いがあり意見などが分かれたりもしています。また、人口についても流出が続いているなど報告もありました。



気仙沼市役所での意見交換会でも高台への移住地移設で今までのバスのルートが変わったり、新しく病院が出来る事で、またバスのルートが変わったりします。広域移動として鉄道とBRTの乗り継ぎなどが出されてました。BRTも線路敷を舗装して専用道化も進めながら鉄道復旧に向けた考え方もJR東日本から出されてます。JR東日本との協議などBRTによる本格復旧を受け入れる協議も進めているなどが出されています。気仙沼市は津波死0を目指す取り組みで町づくりをしています。堤防で防ぐのではなく、どう避難するのかが大切だとも言っています。この東日本大震災を教訓に東南海沖地震の時の対応を私達も考えて行く事が大切だと感じました。

全国酸素部会事務局長 鷹巣 準



ヨットに乗ってみたい人は大歓迎です

私は酸和運送(株)和歌山本社に勤務して、エア・ウオーターの酸素や窒素などに乗務して30年になります。去年12月より再雇用になりました。組合員は古久保氏と二人ですが、仲良くやっています。

私は家が海の近くという事もあり小さい頃から海でサザエを採ったりして遊んでいました。そのうちに仲間が二人でき、ヨットを買おうという事になり、小さいヨットを買いました。最近では壱岐の島や薩摩硫黄島など3日間走り続ける時もあります。

走ってる時はもちろんたのしいですが、目的地について温泉に入って、美味しいものを食べて、みんなでワイワイやるのが最高です。

毎年7月か8月頃に和歌山で日本セーリング連盟主催の(海と日本プロジェクト)という、応募すれば誰でも無料でセーリング体験ができる催しで、下は4歳から上は70歳位まで、ヨット10艇位で朝、昼40人ずつ今年もたくさんの人にセーリングの楽しさを体験して頂きました。

ヨット人口が減っている中、1人でも興味を持って帰ってくれたらいいなあと思います。

もし、乗ってみたいなあと思う人があれば、大歓迎です。

只、豪華なヨットを想像しないでくださいネ！！

酸和運送分会 谷 佳彦



富士登山

神奈川県南支部の文化レク活動で、富士山に登ってきました！

佐藤委員長、大島書記長、斎藤副委員長、赤羽特別執行委員の4名が富士登山に挑戦しました。

赤羽さん以外、みんな一度も登ったことがない初心者で、富士吉田口ルート五合目を13時15分に出発、登山当日は気持ちのいいくらいに晴れていて、気分も最高でした。

さすが日本一の山！スタートしてから、順調に登りましたが、体力の影響は計り知れないものがありました。山頂に近づくとつれ險しくなり、なかなかたどり着かない宿泊する8合目の山小屋。キツかった…それでもひたすら歩く！

18時過ぎに到着して山小屋で一泊。しかし、部屋の中には人、人、すごい人混みで疲れも取れないままに2時30分に起床し、

山頂を目指すが、またまた人で大渋滞！頂上に着いたのは、日が少し昇ってしまった6時前くらいでした。途中までの道のは今まで見た太陽の中で一番まぶしく本当に感動しました。

でも、当分の間は登りたくないです。

神奈川県南支部 斎藤健人

